

【Harmoware-DMI応用: 人口密集地回避誘導】課題 4-1: 名古屋大学 渡辺陽介

解決すべき課題

- ・人口密集地域をヒートマップで視覚化する技術は、スマホのGPSセンサや、スマホと基地局との通信状況等をベースにしており、位置精度の限界によって**一定粒度以下の細かさにはできない**。
- ・高密度の領域がざっくりと荒い粒度でしか提示されないため、「**他人に近づかずに目的地へ行ける経路を探す**」という用途に適さない

解決手段・方法

- ・自動運転を支援するための「交通状況の把握技術（ダイナミックマップ）」を車道だけでなく歩道にも適用する
- ・歩道上の空間を、（物体に）占有された領域、何もいない空き領域、センサ範囲外の領域に識別し、**人を何もいない空き領域へと優先的に誘導**する

【適用されるHarmowareモジュール】

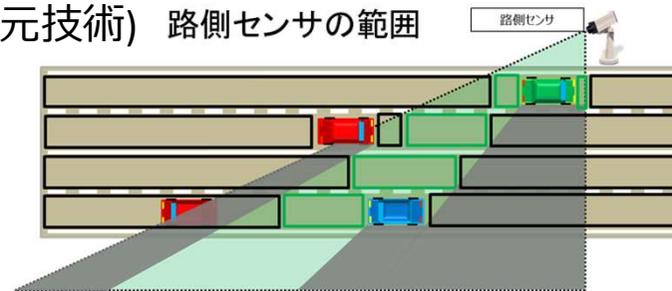
- ・Harmoware-DMI (ダイナミックマップとのインターフェースモジュール) を利用して、ダイナミックマップを介して歩道上の空間状態を取得

得られる価値

- ・移動経路上の空間の人口密度が低いことを事前に分かったうえで安心して移動することができる

イメージ図

(元技術) 路側センサの範囲



	元技術		応用先
適用空間	車道	→	歩道
情報提供先	自動運転車	→	密集地を避けたい人間
利用目的	車線変更や合流に使える空き領域の通知	→	周りに人のいない空き領域や経路の通知

本技術のポテンシャル（有用性・国際的状況）

- ・単一のセンサだけではカバーできる範囲は狭いが、複数センサからの動的情報をダイナミックマップ上で共有することで、都市全体をカバーする